

平成21年度一般会計・特別会計・企業会計決算の概要

一般会計

1 決算規模

| | | |
|------|-----------------|-------------|
| 歳入総額 | 325億4,635万円 | (前年度比△6.9%) |
| | 前年度 349億6,161万円 | |
| 歳出総額 | 305億1,238万円 | (前年度比△5.2%) |
| | 前年度 321億9,834万円 | |

歳入総額は325億4,635万円で、前年度に比べ24億1,526万円、6.9%の減少となりました。

歳出総額は305億1,238万円で、前年度に比べ16億8,596万円、5.2%の減少となりました。

この結果、繰越事業に充当される財源1億600万円を除く**実質収支額は19億2,797万円**となりました。

[単位：千円、%]

| 区分 | 21年度 | 20年度 | 増減額 | 増減率 | 19年度 |
|--------------|------------|------------|------------|-------|------------|
| 歳入総額 | 32,546,354 | 34,961,610 | △2,415,256 | △6.9 | 37,545,745 |
| 歳出総額 | 30,512,379 | 32,198,343 | △1,685,964 | △5.2 | 34,711,078 |
| 歳入歳出差引 | 2,033,975 | 2,763,267 | △729,292 | △26.4 | 2,834,667 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 106,001 | 325,860 | △219,859 | △67.5 | 437,937 |
| 実質収支 | 1,927,974 | 2,437,407 | △509,433 | △20.9 | 2,396,730 |

2 決算の特徴

- (1) 前年度に比べて法人市民税が大幅に減少したため、市税が大幅に減少しました。
(市税：129億393万円) 前年度比△35.6%
- (2) 市税の大幅な減少に伴う財源を確保するため、財政調整基金を20億円取り崩し、さらに減収補てん債等の市債発行額が大幅に増加しました。
(財政調整基金残高：75億9,189万円) 前年度比△7.2%
(市債発行額：56億2,770万円) 前年度比145.8%
- (3) 市税過誤納還付金(還付加算金を含む)が大幅に増加しました。
(38億8,522万円) 前年度比3,851.8%
- (4) 歳入の大幅な減少に伴い、ここ数年高い水準で推移していた普通建設事業費は大幅に減少しました。
(50億8,453万円) 前年度比△44.6%
- (5) 台風第18号により被災した施設等の災害復旧事業を行いました。
(4,725万円) 前年度比 皆増

3 歳入決算の状況

(1) 市税

歳入の大半を占める市税は、長引く経済の後退により、129億393万円、前年度と比較して71億3,574万円、35.6%の大幅な減少となりました。

減少の主なものは、法人市民税で、前年度に比べ71億783万円、93.9%の減となりました。

※市税過誤納還付金（還付加算金を含む）が前年度比37億8,691万円増であるため、実質的な市税の減少は109億2,265万円となります。

(2) 配当割交付金

経済の後退に伴う市場規模の縮小等により交付額が減少しました。

(3) 自動車取得税交付金

低燃費車・低公害車等を対象とする税率軽減措置が影響し減少しました。

(4) 地方特例交付金

自動車取得税の減税に伴う地方自治体の減収補てんとして、交付額が増加しました。

(5) 地方交付税

普通交付税算定における地域雇用創出推進費の創設、合併特例債等償還金の増加等により増となりました。

(6) 国庫支出金

24億939万円で、定額給付金給付事業費補助金（繰越明許費分）、子育て応援特別手当交付金（繰越明許費分）、地域活性化・経済危機対策臨時交付金などの増加により、前年度に比べ4億4,714万円、22.8%の増となりました。

(7) 県支出金

11億6,838万円で、前年度に比べ7億9,978万円の減少となりましたが、農林水産業費に係る経営構造対策事業費補助金の事業完了に伴う皆減による減少が大きな要因となりました。

(8) 繰入金

財源不足を補うため、財政調整基金を20億円取り崩しました。

(9) 市債

事業推進や合併後の行政需要の増加に対応するため、合併特例債の活用と今後の財政事業を見通した臨時財政対策債の発行、さらに市税の減収に対応するための減収補てん債の発行により、56億2,770万円と、前年度に比べ33億3,700万円、145.8%の大幅な増となりました。

4 歳出決算の状況

主な事業

(1) 総務費

| | |
|----------------|--------------|
| 市民協働まちづくり事業補助金 | (149万円) |
| 定額給付金給付 | (10億1,506万円) |
| 市税過誤納還付等 | (38億8,522万円) |

(2) 民生費

| | |
|-------------------|-------------|
| 学校介助員派遣 | (388万円) |
| 子ども医療費無料（中学生卒業まで） | (2億5,161万円) |
| 児童手当支給 | (5億1,366万円) |

(3) 衛生費

| | |
|---------------|-------------|
| 救急医療施設運営費補助金 | (3,000万円) |
| 全国菜の花サミット開催 | (360万円) |
| 田原リサイクルセンター運営 | (6億4,122万円) |

| | | |
|----------------------------|--|--------------|
| (4) 労働費 | | |
| 雇用推進（緊急雇用創出等） | | (5,351万円) |
| (5) 農林水産業費 | | |
| 農業経営活性化（新技術導入支援等） | | (905万円) |
| 畑地帯総合農地整備促進事業（谷熊、伊良湖地区） | | (1,811万円) |
| 農村振興総合整備事業（東部、大久保、大草・高松地区） | | (1億3,354万円) |
| (6) 商工費 | | |
| 商業団体支援（プレミアム付商品券発行事業補助金等） | | (5,742万円) |
| 企業立地奨励金 | | (2億5,170万円) |
| (7) 土木費 | | |
| 田原駅周辺整備等 | | (10億4,848万円) |
| 里山保全推進（あいち森と緑づくり事業等） | | (2,706万円) |
| 緑ヶ丘住宅整備 | | (3億6,436万円) |
| (8) 消防費 | | |
| 大型高所放水車購入（1台） | | (1億1,562万円) |
| 消防団車両整備（2台） | | (3,106万円) |
| 防災ラジオ購入 | | (863万円) |
| (9) 教育費 | | |
| 国際理解教育（英語指導助手設置等） | | (2,293万円) |
| 小中学校施設整備（赤羽根小、清田小及び泉中） | | (1億3,803万円) |
| 福江市民館整備 | | (1億8,984万円) |
| 給食センター施設整備（PFI可能性評価調査） | | (449万円) |
| (10) 災害復旧費 | | |
| 台風第18号関連 | | (4,725万円) |

特別会計

給食センター給食費、老人保健医療、国民健康保険、公共下水道事業、農業集落排水事業、田原福祉専門学校、介護保険、中心市街地商業等活性化事業及び後期高齢者医療の9特別会計の決算総額は次のとおりです。

歳入決算額は136億7,251万円で、前年度に比べ14億593万円の減少となりました。

歳出決算額は132億3,493万円で、前年度に比べ10億9,870万円の減少となりました。

(単位：千円、%)

| 会 計 | 決算額 | | | | | |
|---------------|------------|------------|-------|------------|------------|-------|
| | 歳入 | | | 歳出 | | |
| | 21年度 | 20年度 | 増減率 | 21年度 | 20年度 | 増減率 |
| 給食センター給食費 | 286,310 | 282,430 | 1.4 | 285,948 | 282,346 | 1.3 |
| 老人保健医療 | 65,588 | 590,556 | △88.9 | 58,555 | 544,925 | △89.3 |
| 国民健康保険 | 7,093,568 | 7,149,265 | △0.8 | 6,895,835 | 6,712,424 | 2.7 |
| 公共下水道事業 | 1,556,833 | 2,151,555 | △27.6 | 1,444,054 | 2,039,278 | △29.2 |
| 農業集落排水事業 | 833,585 | 1,039,647 | △19.8 | 768,973 | 958,338 | △19.8 |
| 田原福祉専門学校 | 100,270 | 133,000 | △24.6 | 100,267 | 132,951 | △24.6 |
| 介護保険 | 3,185,876 | 3,192,597 | △0.2 | 3,134,511 | 3,126,754 | 0.2 |
| 中心市街地商業等活性化事業 | 25,006 | 21,717 | 15.1 | 25,006 | 21,717 | 15.1 |
| 後期高齢者医療 | 525,471 | 517,666 | 1.5 | 521,776 | 514,895 | 1.3 |
| 計 | 13,672,507 | 15,078,433 | △9.3 | 13,234,925 | 14,333,628 | △7.7 |

全会計の決算規模（水道事業会計を除く）

歳入総額 462億1,886万円（前年度比△7.6%）
20年度決算歳入総額 500億4,004万円

歳出総額 437億4,730万円（前年度比△6.0%）
20年度決算歳出総額 465億3,197万円

企業会計

水道事業会計

消費税等込み（単位：千円、%）

| 区分 | 21年度 | 20年度 | 増減額 | 増減率 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|----------|-------|----|
| 収益的収入 | 1,254,831 | 1,474,735 | △219,904 | △14.9 | |
| 収益的支出 | 1,125,420 | 1,312,121 | △186,701 | △14.2 | |
| 差引 | 129,411 | 162,614 | △33,203 | △20.4 | |
| 資本的収入 | 54,354 | 75,519 | △21,165 | △28.0 | |
| 資本的支出 | 482,033 | 419,994 | 62,039 | 14.8 | |
| 差引 | △427,679 | △344,475 | △83,204 | △24.2 | |

健全化判断比率及び資金不足比率

（単位：%）

| 区分 | 21年度 | 20年度 | 早期健全化基準(注) | 財政再生基準 |
|----------|------|------|------------|--------|
| 実質赤字比率 | — | — | 12.16 | 20.00 |
| 連結実質赤字比率 | — | — | 17.16 | 40.00 |
| 実質公債費比率 | 7.6 | 8.6 | 25.0 | 35.0 |
| 将来負担比率 | 24.5 | 19.3 | 350.0 | |
| 資金不足比率 | — | — | 20.00 | |

（注）資金不足比率については、「経営健全化基準」となります。

「—」は赤字又は資金不足がないため数値に現れないことを表す。
他の数値はいずれも早期健全化基準等を下回るため健全な状況であるといえます。